

(令和7年6月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	6月は歴史的な真夏日が続いたものの、梅雨による激しい降雨での作物への被害はなく、総取扱数量、総取扱金額のいずれも前年同月並みであった。 今後は、日中の記録的な高温が作物の生育に影響し、不安定な入荷となることが懸念される。 7月は、野菜では、枝豆やとうもろこしの入荷が増える。果実では、すいかや桃が最盛期を迎え、巨峰等ぶどうの入荷が始まる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は3%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で9%下回ったが、にんじんが高騰した前年と比べ単価は8%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は3%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は7%上回った。 土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は16%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で30%上回り、単価は18%下回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で38%下回り、単価は51%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は3%上回った。 桜桃類の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は14%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で51%下回り、単価は23%上回った。 すいか類の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は3%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん 【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス 【果菜類】 きゅうり	青森、北海道を中心に、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１３％上回った。 和歌山、長崎を中心に、兵庫、熊本などからも入荷した。梅雨明けが早く、例年より気温が高くなったことで品質が悪化し、入荷量は前年同月比で３％下回ったが、単価は３３％下回った。 長野を中心に、三重などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％上回ったが、単価は前年同月並みであった。 茨城を中心に、京都、群馬、愛知、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１８％下回ったが、長引く高値の影響から需要が減少し、単価は１３％下回った。 岐阜、茨城を中心に、滋賀などからも入荷した。入荷量は天候不順で入荷量が落ち込んだ前年に対して同月比で４％上回ったが、単価は１１％上回った。 長野を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は６％上回った。 宮崎を中心に、滋賀、福岡、京都、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回り、単価は４９％上回った。

なす	高知を中心に、岡山、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で15%下回ったが、単価は前年同月並みであった。
とまと	熊本、北海道、福岡を中心に、京都、三重などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は前年同月並みであった。
ピーマン	大分を中心に、宮崎、茨城、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で28%下回り、単価は18%上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎を中心に、熊本、静岡、北海道などからも入荷した。入荷量は前年同月比で13%上回り、単価は44%下回った。
たまねぎ	兵庫を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で6%下回ったが、不安定な入荷で価格が高騰した前年に対して同月比で単価は16%下回った。
【その他野菜】	
青梅	和歌山を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で77%上回り、単価は5%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に、佐賀、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9％下回り、単価は12％上回った。
富士 （サン富士含む）	青森を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で23％下回り、単価は12％上回った。
桜桃	アメリカを中心に、山形、山梨などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6％下回り、単価は14％上回った。
アールスメロン	静岡を中心に、高知、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7％下回り、単価は4％上回った。
大玉すいか	鳥取を中心に、熊本、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4％上回り、単価は3％下回った。